

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第2回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,500 千円】
事業目的・概要	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アート」の表現を通して西区全体の文化風土を耕して、区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 <p>【概要】</p> <p>第1回からの変更点として吹奏楽や合唱、芸能に加えて新たにダンスも対象にした団体の発表の場として開催した。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日、会場：平成26年10月26日（日） 黒崎市民会館1階ホール ・出演団体：15団体 <p><合奏の部></p> <p>小針中学校吹奏楽部、新潟西高等学校吹奏楽部、西内野コミ協吹奏楽団、アンサンブルフィーデル、五十嵐中学校箏曲部、新潟大学吹奏楽部</p> <p><合唱・ダンスの部></p> <p>赤塚中学校音楽部、コーラス円、フラサカイワA、黒Dan、T-ROOP DANCE COMPANY</p> <p><芸能の部></p> <p>オカリナサークル風人、木田流津軽三味線「松栄会」、民謡佳月会、新潟楽所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演者：約300人 ・来場者：延べ644人
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>○地域課題の抽出とその解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されているため、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。 そこで、区民の一体感を醸成を目指し、西区で音楽活動などに取り組んでいる団体に発表の場を提供した。 <p>○評価（成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目ということ区民に浸透してきた。 ・秋のイベントが集中する時期にもかかわらず、前回に比べて来場者が増えた。 ・アンケートで継続の要望が多く寄せられたため、第3回も開催することとした。 ・スタッフの仕事内容をマニュアル化したため、ステージ上の運営がスムーズに行えた。 ・琴の演奏や子どもたちのダンスを新たに組み入れるなど、構成を工夫したことにより、長く鑑賞している方がみうけられた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客や出演者に観賞マナーを守ってもらえるよう対策が必要。 ・出演者の持ち時間の調整が必要。 ・マンネリ化しないよう多様なアイデアを出していくことが必要。 ・さらなる周知を図るため、さまざまな媒体を活用した広報活動を実施する。（テレビ・新聞・高齢者施設など） <p>○今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出演団体の参加意欲に繋がるような発表の場として開催を継続していく。 ・若い人のアイデアを取り入れるため、学校（学生）との共催について検討していく。
備考	

第2回西区アートフェスティバル プログラム

10:00 開会挨拶 会長 真嶋民雄

オープニング

10:05 新潟市立小針中学校 吹奏楽部

- 1 RPG
- 2 サザエさん
- 3 名探偵コナン

第1部 合奏の部

10:25 新潟県立新潟西高等学校 吹奏楽部

- 1 チェリー
- 2 学園天国
- 3 遙か
- 4 日本昔ばなしセレクション
- 5 ファランドール
《アルルの女》第2組曲より

10:45 西内野コミ協吹奏楽団
(黒埼南部公民館)

- 1 童謡メドレー
- 2 愛の賛歌
- 3 鉄腕アトム

11:05 アンサンブルフィーデル
(小針青山公民館)

- 1 愛の挨拶
- 2 合奏協奏曲 作品6-4
- 3 情熱大陸

11:25 新潟市立五十嵐中学校 箏曲部

- 1 雪月花によせて

11:45 新潟大学 吹奏楽部

- 1 恋するフォーチュンクッキー
- 2 魔女の宅急便コレクション
- 3 行くぜっ!怪盗少女

12:05 休 憩

第2部 合唱・ダンスの部

12:50 新潟市立赤塚中学校 音楽部

- 1 空も飛べるはず
- 2 Best Friend
- 3 ハナミズキ

13:10 コーラス 円^{まどか}
(黒埼地区公民館)

- 1 女性合唱組曲「よかったなあ」より 小鳥たち
- 2 「花のかず」より クルミ
- 3 「風の季節・花の季節」より 南の絵本
- 4 「アンコール名曲集」より 「Over The Rainbow」
ミュージカル オズの魔法使いより

13:30 フラサカイワA
(坂井輪地区公民館)

- 1 エホイカピリ
- 2 マカニオルオル

13:50 黒Dan

- 1 黒Dan MIX

14:10 T-ROOP DANCE COMPANY

- 1 T-ROOP オリジナルメドレー

14:30 休 憩

第3部 芸能の部

14:40 オカリナサークル 風人
(黒埼北部公民館)

- 1 かつこうワルツ
- 2 冬が来る前に
- 3 鉄腕アトム
- 4 聖母たちのララバイ
- 5 人生いろいろ

15:00 木田流津軽三味線 松栄会

- 「北の響」
- 1 唄っ子メドレー
 - 2 津軽数え唄
 - 3 曲弾合奏

15:20 民謡 佳月会
(坂井輪地区公民館)

- 1 会津磐梯山
- 2 黒田節
- 3 越中おわら節

15:40 新潟^{にいがた}楽^{がくそ}所

- 1 盤渉調調子(ばんしきちょうちょうし)
- 2 越天楽(えてんらく)
- 3 蘇莫者破(そまくしゃのは)

16:00 閉会挨拶 部会長 丹治嘉彦

* 出演時間や曲目は変更になる場合もございます。

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	第1回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,520千円】
事業目的・概要	(1)「アート」の表現を通して西区全体の文化風土を耕して、区民の一体感を醸成する。 (2)西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらおう。 (3)大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 これらを開催目的とし、第1回は「音楽・芸能」分野の団体を対象にした発表の場として開催した。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	○開催日時:平成25年10月27日(日)午前10時～午後4時 ○開催会場:黒崎市民会館1階ホール ○出演団体:13団体 ＜地域コミュニティ団体＞ ・山田校区ふれあい協議会「山田っ子隊」 ＜学校関係団体＞ ・青山小学校合唱部・小針中学校合唱部・坂井輪中学校吹奏楽部・新潟清心女子中学・高等学校ハンドベル部・新潟大学室内合唱团「カンマーコール」 ＜公民館利用団体＞ ・西内野吹奏楽団・合唱団(コーラス)円(まどか)・アンサンブルフィーデル・民謡佳月会 ＜伝統芸能団体＞ ・新潟楽所・赤塚伝統芸能保存会・青山翔龍会 ○出演者:約290人 ○来場者:延べ614人
事業の評価 地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など	○地域課題の抽出 ・西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の大きく3地域で構成されているため、各地域の文化活動は盛んだが、西区が一体となった文化活動が見られなかった。そこで、区民の一体感を醸成を目指し、西区で音楽活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供する事業を実施する事は、委員にとっても初めての試みで、とてもやりがいのある取組となった。 ○評価 ・西区で13の音楽団体が一堂に集まって実施できたことに、驚きと感動を感じた。胸を張って誇れる事業で、レベルの高い内容だった。また、委員一丸となってスムーズな進行に努め、やり終えたという充実感を感じることができた。 ・アンケート調査の意見では、「素晴らしい内容で、次回もぜひ見に来たい」と満足度が約90%だった。また、事業報告記事を掲載した自治協広報紙への区民意見にも、アートフェスティバルに関する好評な意見が多く寄せられ、区民の一体感を醸成ができたことと評価したい。 ○課題 ・自治協主催であるが、自治協委員の参加が少なかった。 ・様々な世代の交流に繋がりができることが理想。 ・広報やPR方法をもっと工夫していく必要性を感じた。 ・参加団体によって、来場者にばらつきがあったので、プログラム構成を検討する必要がある。
備考	

第1回西区アートフェスティバル プログラム

10:00 開会挨拶 真嶋民雄会長

オープニング

10:05 山田校区ふれあい協議会 地域芸能保存会
1 豊年太鼓
2 瑞祥太鼓

第1部 学校音楽の部

10:25 新潟市立青山小学校 合唱部
1 Happy Lucky Good-day
2 夢見るヨット
3 花色カメレオン
4 「100万回生きたねこ」～こどものための合唱ミュージカル～より
のらねこフィーバー
5 ふるさと

10:45 新潟市立小針中学校 合唱部
1 「魔女の宅急便」より やさしさに包まれたなら
2 平成25年度NHK全国学校音楽コンクール課題曲 友～旅立ちの時～
3 「Missa Augusta (8月のミサ)」から Gloria (栄光の賛歌)
4 ガムラン

11:05 新潟市立坂井輪中学校 吹奏楽部
1 「あまちゃん」オープニングテーマ
2 RPG
3 となりのトトロ セレクション

11:30 新潟清心女子中学・高等学校 ハンドベル部
1 海に見える街
2 君をのせて
3 美女と野獣
4 ファランドール

11:50 新潟大学室内合唱団 カンマーコール
1 「あまちゃん」オープニングテーマ
2 オー マーニウム ミステリウム
3 ヨ ミ ソン ジョビネッタ
4 「ティオの夜の旅」より 祝福
5 またね

12:10 休 憩

第2部 公民館利用団体の部

13:05 西内野吹奏楽団
(黒埼南部公民館)
1 若い力
2 日本愛唱歌集
3 旧友

13:30 コーラス まどか
合唱団 円
(黒埼地区公民館)
1 寺山修司の詩による6つのうた「思い出すために」より
ぼくが死んでも、思い出すために
2 「ふるさとの四季」より
ふるさと、村祭り、紅葉、冬景色、雪、ふるさと
3 瑠璃色の地球

13:55 アンサンブルフィエデル
(小針青山公民館)
1 「リュートのための古い舞曲とマリア」から
イタリアーナ、シチリアーナ
2 「シンプル シンフォニー」から
騒々しいプーレ、おどけたピッチカート、
ふざけた気分の終曲

14:20 民謡 佳月会
(坂井輪地区公民館)
1 新相馬節
2 越中おわら節
3 お立ち酒

14:45 休 憩

第3部 伝統芸能の部

15:00 にいがた がくそ
新潟 楽 所
1 黄鐘調調子 (おうしきちょう ちょうし)
2 越 天 楽 (えてんらく)
3 西 王 楽 (さいおうらく)

15:20 赤塚伝統芸能保存会
1 天の浮橋 (あまのうきはし)
2 海 神 (かいじん)

15:40 青山翔龍会
1 港 太 鼓 (みなと だいて)
2 躍進太鼓 (やくしん だいて)
3 甚句巴打ち (じんく ともえうち)
4 おけさ揃い打ち (おけさ そろいうち)
5 砂 山 (すなやま)

16:00 閉会挨拶 丹治嘉彦部会長

* 出演時間や曲目は変更になる場合もございます。

第4期 西区自治協 成果と課題 【抜粋版】

(7) プロジェクトチーム3に関すること

【成果】

- 第3期の課題である西区アートフェスティバルの開催について、今期の自治協議会提案事業として2回開催した。
 - 第1回(平成25年10月27日)は、テーマを「音楽の力、西区の宝」とし、西区で活動している「音楽・芸能」分野の団体の発表の場として提供することができた。
 - 第2回(平成26年10月26日)は、第1回に引き続きテーマを「音楽の力、西区の宝」としたが、音楽という分野を拡大しさまざまな団体の発表の場とするため、ダンスグループからも参加いただき、区民からも好評だった。
- 西区で活動している団体等を多数集めての実施だったが、スタッフ一丸となってスムーズな進行に努め、やりとげることができた。
- 運営には、部会員以外の委員からも協力してもらったが、初めて携わる委員でも当日の運営がスムーズにできるよう、第2回からスタッフの仕事内容をマニュアル化した。
- 第1回はプログラム構成を「学校の部」「公民館利用団体の部」「伝統芸能の部」としたため、時間帯によって来場者の数に偏りが見受けられたが、第2回ではプログラム構成を「合奏の部」「合唱・ダンスの部」「芸能の部」と、演奏方法や演技内容で分けたため、来場者の均一化と長時間鑑賞する方を増加させることができた。
- アンケート調査では、第1回・第2回共に「素晴らしい内容で、次回もぜひ見に来たい」という意見が多く、来場者の満足度も非常に高かった。さらに、事業報告を記事として掲載した自治協議会広報紙「西区を豊かに」への感想としても、好評な意見が多く寄せられた。

開催当日は演奏者や演技者と来場者が音楽をとおして一体となっていたため、事業目的である「区民の一体感の醸成」が達成できた。

 - 第1回西区アートフェスティバル来場者：614人(1日の延べ人数)
 - 第2回西区アートフェスティバル来場者：644人(1日の延べ人数)

【課題】

- 自治協議会提案事業として西区アートフェスティバルの開催を継続し、音楽をテーマとした「西区の宝」を発信する場として定着させ、その後アート作品の展示会などを並行して検討する。

- 事業がマンネリ化しないよう、企画内容を検討する必要がある。

- アンケートに出演者や来場者のマナーについての意見があったため、出演者との事前打ち合わせの場や場内アナウンスによる注意などでの対応を検討する必要がある。

- 学生や地域ボランティアから企画や運営などに参加してもらうことはできないか検討し、関係団体等と協議していく。

- 来場者の増加を図るため、チラシの全戸配布を継続するとともに福祉施設に入所している高齢者からも来て楽しんでいただけるよう情報を提供する。また、テレビ・新聞・雑誌などマスメディアを活用した広報活動を検討する必要がある。